

その一 (初級)

一、つぎのかんじのよみかたを()の中にひらがなでかきなさい。

(1) 三日の午後、近所に大きな火事がありました。

(2) お正月の休みの間に文法の勉強をしました。

二、つぎのことばをかんじで()の中にかきなさい。

(1) あめ が おお い ち ほう では た べもの に ちゅう い し
 てください。

(2) はや く あたら しい よう ふく を か いたいと おも います。

三、おなじようなことばをあつめました。()の中にひらがなでかきなさい。

れい ひとり ふたり さんにん よにん

(1) にほん よんほん

(2) いつか なのか

(3) ひやく まん

(4)

きょう

あした

(5)

はる

あき

四、上のことばのかたちをかえて、

の中にかきなさい。

れい

教える

日本語を

教え

ます。

(1)

写す

しゃしんを写

ています。

(2)

飲む

さけを飲

ではいけません。

(3)

泣く

あさから泣

ています。

(4)

起きる

はやく起

てください。

(5)

待つ

ちょっと待

てください。

(6)

使う

このペンを使

てもいいですよ。

(7)

呼ぶ

あなたを呼

でいますよ。

(8)

急ぐ

急

だほうがいいですよ。

(9)

始まる

十時に始

たはずです。

(10)

死ぬ

いぬが死

でしまいました。

五、つぎの文の「 」の中のことはどれがいいですか。いいものに○。
あるいものに×を「 」の中にかきなさい。

(1) その本はおもしろいですか。

はい、	はい、	はい、
（ <u> </u> ）	（ <u> </u> ）	（ <u> </u> ）
（あまり）	（すこしも）	（たいへん）

おもしろいです。

(2) えいがはすきですか。

いいえ、	いいえ、	いいえ、
（ <u> </u> ）	（ <u> </u> ）	（ <u> </u> ）
（あまり）	（とても）	（そう）

すきではありません。

(3) アメリカへ行ったことがありますか。

いいえ、	いいえ、	いいえ、
（ <u> </u> ）	（ <u> </u> ）	（ <u> </u> ）
（いちど）	（いっしょ）	（いつか）

行ったことはありません。

(4) あさ、さんぽしますか。

はい、	はい、	はい、
（ <u> </u> ）	（ <u> </u> ）	（ <u> </u> ）
（たまに）	（ときどき）	（あまり）

さんぽします。

(5) しけんはもうおわりましたか。

いいえ、	いいえ、	いいえ、
（ <u> </u> ）	（ <u> </u> ）	（ <u> </u> ）
（もう）	（すっかり）	（まだ）

おわりません。

六、つぎの文の「 」の中にひらがなを一字だけかきなさい。

きょうは、ともだちといっしょ

「 」

アパートを見

「 」

行きました。

バス

「 」

駅まで行って、電車

「 」

乗りました。五つめ

「 」

駅

「 」

電車

「 」

降り

「 」

、すこし歩きました。かど

「 」

たばこや

「 」

きいたら、すぐわかりました。

七、の中にことばを入れて、みぎがわの文とおなじことをあらわす文にしなさい。

(1) 田中さんは山川さんに電話でんわをたのみました。

(2) 田中さんはおばあさんの手をひいています。
おばあさんは田中さんに手を

(3) 田中さんは山川さんに毎日テニスの練習れんしゅうをさせました。
山川さんは田中さんに
毎日テニスの練習を

(4) 田中さんは山川さんに説明せつめいしてあげました。
山川さんは田中さんに説明して

(5) わたしは田中さんに日本語を教えてくださいました。
田中さんはわたしに日本語を教えてください

八、つぎの文をよんで、あとにかいてあることがただしければ○、まちがっていれば×を()の中にかきなさい。

わたしは、田中さんにかりた本をよんでから、山下さんにかしました。山下さんは、自分じぶんがよんでしまったら中村さんにもよめたいと言いましたが、わたしは、そのまえにかえすように言いました。わたしは、本をはやくかえすように言われたからです。

() わたしは田中さんからかりた本をよみました。

() 山下さんはわたしから本をかりました。

() 山下さんは田中さんの本をよんでしまいました。

() 中村さんは田中さんの本をよみたいと言いました。

() 田中さんはわたしに「本をはやくかえしてください。」と言いました。